

第 17 回信州岩波講座・高校生編

フォトジャーナリスト 大塚敦子氏講演会

ともに生きるために

本をとおして伝えたいこと

高校生以下
入場無料



『犬が来る病院』(KADOKAWA)

2017.11/27 月

17:30 ~ 19:00(開場 17:00)

メセナホール 小ホール

- 高校生以下の方は入場整理券が必要です。
(須坂市内各高等学校の運営委員会又はメセナホールまで)
- 一般の方も聴講いただけます。
聴講料：1,000 円
(11/1 水よりメセナホールにて販売)

高校生のみなさんへ

どのような本を読んできたか、それがどのように今の仕事につながっているか、どんなことを伝えたくてこの仕事をしているのかなど、未来への可能性にあふれた高校生のみなさんにお話しできるのを楽しみにしています。

【信州岩波講座・高校生編とは】

活字文化と地域文化の再生&発展を願って、1999年から岩波書店・信濃毎日新聞社などの協力を得て開催されている「信州岩波講座」。その「高校生編」として、2001年より、信州岩波講座実行委員会のサポートのもと、高校生が自主的に社会に参加し、体験することを目的として、須坂市内3校の生徒を中心に活動をはじめ、17回目を迎えました。

お問い合わせ

- 須坂市内各高等学校の運営委員会
- 信州岩波講座実行委員会事務局
〒382-0098 長野県須坂市墨坂南 4-5-1
☎026-245-1800 (メセナホール内)



大塚 敦子 (おおつか あつこ)

1960年生まれ。上智大学文学部英文学科卒業。パレスチナ民衆蜂起、湾岸戦争などの国際紛争の取材を経て、死と向きあう人びとの生き方、自然や動物との絆を活かして、罪を犯した人や紛争後の社会を再生する試みなどについて執筆。『さよなら エルマおばあさん』(小学館)で、2001年講談社出版文化賞絵本賞、小学館児童出版文化賞受賞。コミュニ

ティ・ガーデンによる内戦後のボスニアの平和構築を描いた『平和の種をまくボスニアの少女エミナ』(岩崎書店)が2008年青少年読書感想文全国コンクール小学校高学年の部、聖路加国際病院小児病棟でのセラピー犬と子どもたちの交流を描いた『犬が来る病院』(KADOKAWA)が2017年高校生の部の、課題図書に選定。『(刑務所)で盲導犬を育てる』(岩波ジュニア新書)、『地雷のない世界へ はたらく地雷探知犬』(講談社)、『いつか帰りたいぼくのふるさと 福島第一原発 20キロ圏内から来たねこ』(小学館)など著書多数。

ホームページ：www.atsukophoto.com

主催 ■ 信州岩波講座・高校生編運営委員会

共催 ■ 信州岩波講座実行委員会